

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 28 日

評価対象事業		評価者	福祉総務課長		大澤 一則
健福-01 社会福祉啓発事業	☒ 自治事務		主管課	福祉総務課	
	☐ 法定受託事務		関連課		
総合計画上の位置付け	分野	市民自治	施策の方針	市民自治	

1 事業の目的

対象	市民等
意図	健やかで心豊かに暮らせるまちづくりに向け、新たなコミュニティーや仕組みづくりを進めるため。
効果	地域福祉の推進が図られる。

2 平成27年度に実施した事業の概要

・地域で安心して暮らしていくための初期相談に応じる地域福祉相談室を設置し、適切な支援に繋げていく体制の整備を行った。 ・市社会福祉協議会との協働事業として、地域福祉支援室を運営した。
--

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算	27年度決算	データ区分	28年度当初予算	備 考
人口等のデータ			人口	176,869人	・各年3月31日 (住民基本台帳)
人口	177,464人	177,243人	世帯数	80,928世帯	
世帯数	80,368世帯	80,676世帯	事業の対象者数		
事業の対象者数			事業の対象者数		
運営資源状況			当初予算(千円)	6,999	
決算値(千円)	6,927	6,999	国県支出金		
国県支出金			地方債		
地方債			その他		
その他			一般財源	6,999	
一般財源	6,927	6,999	人員配置数	0.6	
人員配置数	0.6	0.6	人件費(千円)	4,625	
人件費(千円)	4,580	4,645	総事業費(千円)	11,624	
総事業費(千円)	11,507	11,644	市民1人当りの経費(円)	66	
市民1人当りの経費(円)	65	66	対象者1人当りの経費(円)		
対象者1人当りの経費(円)			対象者1人当りの経費(円)		

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	2. 統合に向けた検討は可能
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	2. 増大している
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	2. 成果は概ね出ているが、更なる努力は必要である
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	3. 事業の方向性や手法は概ね適切であり、一定程度貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△. 負担未導入
		△-2. 受益者はいるが、今後も公費により全額市が負担すべきものである
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	○. 協働実施済
		協働実施済の場合のパートナー
		鎌倉市社会福祉協議会・活動団体
事業内容の方向性	☒ a: 事業内容を見直す ☐ b: 事業内容は現状通りとする ☐ c: 事業を休止又は廃止する ☐ d: 他事業と統合し、本事業は廃止する	☒ 拡大 ☐ 縮小 ☐ その他
		・地域福祉相談室の全市的な展開 ・地域福祉支援室のあり方の検討
予算規模の方向性	☒ A: 予算規模を拡大する ☐ B: 予算規模は現状維持とする ☐ C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由 地域福祉相談室の全市的な展開をめざした増設のため
総評(評価に対する考え方、根拠等)	核家族化や地域社会への帰属意識の希薄化の進展する中、地域社会では、高齢者の孤立化、児童虐待、生活困窮など福祉に関する諸問題が顕在化し、地域で見守り、支え合うことが求められている。年齢や分野に関わらず幅広く、福祉問題に対応するため、地域住民、福祉活動団体、専門機関等で構成されるネットワークと連携し、問題解決につながる地域福祉の拠点を拡大していくため、検討を進めていく。	

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	地域福祉相談室の全市的な展開及び地域福祉支援室のあり方の検討	
課題解決のために行った平成27年度の取組	平成26年7月に開設した地域福祉相談室の検証を行った。 協働事業として行っている鎌倉市社会福祉協議会と、地域福祉支援室のあり方についての意見交換を行った。	☐ 解決 ☐ 一部解決 ☒ 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	地域福祉相談室の全市的な展開及び地域福祉支援室のあり方の検討	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う 他市比較に関する 考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容	地域福祉相談室相談件数					単位	件	指標の傾向	⇒	備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31	(初回相談 と継続相談 の合計数)		
実績値のみ記載(平成26年度は 7月から9ヶ月間)	目標値									
	実績値	227	300							
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
指標の内容						単位		指標の傾向		備考
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31			
	目標値									
	実績値									
	達成率									
当該事業実施に伴う 指標の推移に関する 考え方										

● 事業に関する特記事項

☒ 第3期基本計画前期実施計画重点事業	☐ 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---